

授業科目

救急医学・演習

【担当教員名】 朱敏秀, 石川知志, 渡邊良弘, 月城慶一, 桐本光, 椿淳裕, 渡辺恵子, 鈴木真由美, 石塚敏子	対象学年	3	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を模擬的に実施できる。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. 各疾患の救急対応法を理解できる。
  2. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。
  3. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。
  4. 気道の確保について理解し、実施できる。
  5. 効果的なCPRを実施できる。
  6. 病気やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。
  7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。
  8. 応急救護法が必要な現場に遭遇した場合の対処法を計画できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション 4/11 3限		
2	スポーツ現場での救急対応 4/11 4限	1	講義（石川知志）
3	精神科救急とその対応 4/11 5限	1	講義（渡邊良弘）
4	内科的救急対応① 4/18 5限	1	講義（朱敏秀）
5	内科的救急対応② 4/25 5限	1	講義（朱敏秀）
6	応急救護法とは	2	演習
7	蘇生の連鎖と感染の予防	2	（月城慶一, 桐本光, 椿淳裕,
8	気道、呼吸、循環の初期の評価	3	渡辺恵子, 鈴木真由美, 石塚敏子）
9	気道の確保	4	
10	CPR（心肺蘇生法）	5	
11	病気やけがに応じた対処法	6	
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護①	7	
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護②	7	
14	知識の確認・まとめ	8	
*1 第1～5回は第1～3週目に行う（全履修者同時受講の座学） *2 第6～9回、第10～14回を2週連続で受講する（グループ別の実習） 受講する期間はグループごとに異なる。詳細は第1回の講義時に連絡する。			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	MEDIC FIRST AIDR BasicPlus（一般購入はできません） (MEDIC FIRST AIDRの名称はMEDIC FIRST AID International, Inc. の登録商標です)			
参考書	救急蘇生法の指針 市民用・解説編 改訂3版, 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（監修），へるす出版，2006年，1260円（税込）			
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験で総合的に評価する。	【履修上の留意点】 テキスト・教材費（一般購入はできません）として4030円が必要となります。 30名程度のグループで行い、グループは前年度中に発表します。 遅刻・早退がなく、満身にコースを修了した場合、修了カードが発行されます。
------------------------------------	--

理学療法学科  
専門